



当識と素材を取り戻すための

自主ゼミ 2019 vol.2

*「見当識」⇒ 時間や場所など今自分がおかれている現実をきちんと把握すること。(広辞苑)

「弱いい派」と考える

〈弱さ〉の意味 ②

ゲスト 池田 亮

(ゆうめい・代表、脚本家・劇作家・演出家・美術家・俳優)

私たちは現在どこにいるのでしょうか？ どこから来て、どこへ行こうとしているのでしょうか？ 様々な言葉が飛び交い、何が真実で何が虚偽なのかわからなくなっている現代、私たちは誰もが自分自身を見失っているのではないのでしょうか。2019年度春の自主ゼミは、演劇ジャーナリストの徳永京子さんが「弱いい派」と名付けた演劇に焦点を当て、毎回「弱いい派」からゲストをお招きし、桃山商事の清田代表と雑談しながら、現代における「弱さ」の意味を考えます。新たな人間関係を構築するための視座を探ることで、見当識を取り戻せればと願っています。**5月のゲスト**は、「ゆうめい」の代表、**池田 亮さん**です。どこでも見かけそうな生々しい人々による「なさそうだけだったこと」をテーマに作品を作り続けるゆうめいの池田さんをゲストに迎え、「強さ/弱さ」の「/」のあたり、そして「弱さ」から見える「強さ」について、あれこれ伺ってみたい。下北ウェーブ 2017 で上演された『弟兄』は、中学で壮絶ないじめを受けた池田さんの体験を現在の視点から描く強烈な「私・演劇」でした。自主ゼミ・予習の時間ではこの『弟兄』の映像をノーカットで見ます。



5月28日(火) 19:00 – 21:00 くらい

早稲田大学戸山キャンパス 33-438 教室 (4F)

予習の時間

2017年の下北ウェーブに選出された「ゆうめい」の代表作『弟兄』を全編カットなしで見ます。

5月21日(火) 19:00から 33-438教室 どなたでも参加自由！ 演劇好き必見！

どなたでも！聴講自由！途中参加あり！ 文芸ジャーナリズム論系・水谷ゼミ主催



当識と素材を取り戻すための

自主ゼミ 2019年度 予定

「弱いい派」と考える 〈弱さ〉の意味

終了

第1回 4月23日(火) 19:00 ~ 21:00 くらい

ゲスト 山田 由梨 (贅沢貧乏・主宰、劇作家、演出家、俳優)

☆ 第1回目のための予習 4月16日(火) 19:00 ~

贅沢貧乏の作品『ハワイユー』(2016)の映像を見ます。

NEXT

第2回 5月28日(火) 19:00 ~ 21:00 くらい

ゲスト 池田 亮 (ゆうめい・代表、脚本家・劇作家・演出家・美術家・俳優)

☆ 第2回目のための予習 5月21日(火) 19:00 ~

ゆうめいの作品『弟兄』(2017)の映像を見ます。

第3回 6月25日(火) 19:00 ~ 21:00 くらい

ゲスト 中島 梓織 (いいへんじ・主宰、劇作家、演出家、歌人、詩人、俳優)

☆ 第3回のための予習 6月18日(火) 19:00 ~

いいへんじの作品『夏眠』『過眠』(2018)

☆ オリジナル・キャストによるリーディング! 決定! パチパチ☆シ

第4回 7月23日(火) 19:00 ~ 21:00 くらい

ゲスト 徳永 京子 (演劇ジャーナリスト、「弱いい派」の名付け親)

◎場所はすべて 早稲田大学戸山キャンパス 33号館4階 438教室

☆「弱いい派」とは …その物語の中心にいる人々の社会的な立場は弱い。でも「それが何か?」と言っている。「弱くて結構、弱くていいよ」という、逆転から来る物語性。開き直りではなく、負け惜しみでもない、平らかな場所からの言葉。それらの傾向を持つ作品を私は「弱いい派」と名付けることにした。……「弱いい派」のつくり手たちは「弱い人を守ろう」「あの事件、事故を忘れないようにしよう」とは言わない。「弱くてもいいでしょ?」と聞く。その問いは、これからもう少し増えていき、上手くすれば、世の中の鈍感に少しだけ揺さぶりをかける。何しろ世間の基準ではメジャーではない演劇だ。数で言えばそう大きな影響力はない。でもそれこそが、2018年末の今、演劇で最も重要な発信ではないかと思うし、「少しだけ」が少しでも増えていけばいいなと願っている。

(徳永京子、「震災、やまゆり園、〈弱いい派〉」、『現代詩手帖』2018/11月号より)